

氏名	齋藤 未希	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母性看護学、助産学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2014年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程 看護学専修				
経歴	2019年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教（母性・助産学領域）				
所属学会（役職）	日本母性看護学会、日本助産学会、日本看護科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	2021年版 医学書院 看護師国家試験問題集 (第109回看護師国家試験 回答と解説)	共著	あり	医学書院；162	『系統看護学講座』編集室 (石井邦子、杉本亜矢子、増田恵美、 大月恵理子、齋藤恵子、森田明子、青 木恭子、齋藤未希)	2020.4
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	中期中絶を受ける女性へのケアで助産師に生 じる葛藤と折り合い	共著	あり		日本母性看護学会誌、 21(2)、9-17	齋藤未希、大月恵理子、兼宗美幸
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	中期中絶を受ける女性へのケアで助産師に生 じる葛藤と折り合い	共同		第22回日本母性看護学会学術 集会、オンライン	○齋藤未希、大月恵理子、兼宗美幸	2020.7
2	Web会議ツールを活用した妊産褥婦に対する 遠隔実習の実践	共同		第35回日本助産学会学術集 会、オンライン	○森田亜希子、鈴木幸子、兼宗美幸、東原亜 希子、千葉真希子、山本英子、齋藤未希、浅 井宏美、齋藤恵子、青木恭子	2021.3
3	助産学生対象の新生児ケアの演習における COVID 19感染対策および教育上の工夫	共同		第35回日本助産学会学術集 会、オンライン	○浅井宏美、山本英子、東原亜希子、森田亜 希子、兼宗美幸、青木恭子、千葉真希子、齋 藤未希、齋藤恵子、鈴木幸子	2021.3
4	分娩介助実習前の ICTを活用した遠隔授業と COVID 19感染対策を講じた演習の工夫	共同		第35回日本助産学会学術集 会、オンライン	○東原亜希子、兼宗美幸、青木恭子、山本英 子、森田亜希子、浅井宏美、齋藤恵子、齋藤 未希、千葉真希子、鈴木幸子	2021.3
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし					
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	「分娩期のケア」 胎児付属物の観察		1	根拠のある系統だった胎児付属物の観察ができるよう、デモンストレーション に加え、実施者・観察者のペアとなり観察手順の確認を行った。		
2	「周産期のケア」 母乳育児支援		1	3つの事例を提示し、母子の個別性に沿った母乳育児支援が行えるよう工夫し た。褥婦役・助産師役・観察者役の3人1組でグループ演習を行った。		
3	「周産期のケア」 助産師外来演習Ⅰ（妊婦健康診査）		1	妊婦健康診査の目的・方法、必要な技術については事前学習とし、演習では妊 婦模型を対象に技術の実践を行った。		
4	「周産期のケア」 CTG演習		1	妊婦への声掛け・配慮ができるよう、妊婦役・助産師役・観察者役の3人1組で グループ演習を行った。		
5	「母性看護学Ⅱ」 進行性変化・新生児の抱き方		1	遠隔演習であったが、新生児を模したタオル人形の使用や、褥婦役・看護師役 のペアでのロールプレイ取り入れ実践的に行った。		
(3) 実習						

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	母性看護学実習		32	オンラインでの実習となったが、紙上事例の展開から得た学びをカンファレンスで共有できるよう関わった。	
2	助産学実習Ⅱ		2020.8～2020.10	感染予防に留意しながら、学生が自身の助産ケア・技術を十分に発揮できるよう、支持的に関わった。	
3	NICU実習		2	オンラインでの実習となったが、Web教材を通し学生主体でディスカッションできるよう見守った。	
4	IPW実習		16	オンラインでの実習となったが、多職種が集まる貴重な機会から多職種理解・連携が進むよう支援した。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2020.4～2021.1	主指導	0名	副指導 2名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	動画教材作成	2020.11	オンライン演習の教材として、新生児の全身観察の動画媒体を作成した。		
2	動画教材作成	2020.12～2021.3	分娩介助技術自己練習の教材として、分娩介助技術の動画媒体を作成した。		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	該当なし				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	該当なし				
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容	期間	
1	地域貢献活動	狭山保健所	自宅療養者・濃厚接触者への健康観察電話、カルテ整理	2021.1～2021.3	
2	地域貢献活動	助産系同窓会運営	同窓会幹事との連絡、同窓会運営業務	2020.4～2021.3	
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	学科等における委員会等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会委員			2020.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名	主催		受賞年月	
1	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名	特許番号		登録年月	
1	該当なし				
8. 特記事項					
	該当なし				